



つばさ 121 号が郡山駅にて所定停止位置を 470m 行き過ぎ 停止信号の出発進路を冒進した事象に対する緊急申し入れ

申し入れ項目

3/12 新幹線統括本部へ提出

1. 2024年3月6日に郡山駅に停車する際、滑走により出発信号機及び車両接触限界標識を越えて停止した事象に対する原因究明を徹底して行うこと。また、2022年12月18日に発生した滑走対策として行われた主変換装置の改修に対する評価結果を明らかにすること。
2. 降雪に伴う大滑走であることから今後冬季期間においては、L編成単独運行を中止し、J+L編成など併合編成での運行を確保すること。
3. 大雪注意報・警報が出ている地域を走行する際には、耐雪ブレーキの動作条件に適合した速度とする徐行を実施すること。
4. 効率・安定性を優先された価値観を改め、安全を第一とする新幹線職場風土を再確立すること。
5. 今申し入れに対する回答および団体交渉の日時を速やかに調整し開催すること。



またしても、2年前の同事象が発生！

あわや「脱線転覆・列車衝突」極めて重大な事象だ！

安全対策よりもご利用実態に応じた適正な運行確保に

主眼が置かれた結果がこのような事態を招いた！

JR東日本のフラグシップ商品である「世界一安全な新幹線」と称されてきたことが否定される事態であり、あらゆる角度からの原因究明と然るべき対策が求められている！





つばさ121号が郡山駅にて所定停止位置を470m行き過ぎ 停止信号の出発進路を冒進した事象に対する緊急申し入れ

4月2日団体交渉を行う!

2年前の同事象がまたもや発生! 脱線転覆・列車衝突に繋がる極めて重大な事象であり、安全対策よりも適正な運行確保ということに主眼が置かれてきた結果がこのような事態を招いた! 今事象は起こるべくして起きた人災であり組織事故である!

「世界一安全な新幹線」への信頼が根底から覆されるものであり原因と対策を求める!

本事象を会社は重く受け止めている理由として

- ① 出発進路を冒進していること
- ② 2022年のつばさ159号と同箇所での滑走が発生したこと
- ③ お客さまが怪我をされたこと

とするものの同条件下では結果として安全上問題ないと回答し、対外的に「列車衝突、脱線転覆が起こり得ない」と述べる隠蔽体質ともいえる姿勢を強く指摘し交渉に入る!

つばさ121号が滑走した原因と対策を明らかにすること。

原因は調査中であるが、車両制御、車輪、レールには異常がないと分かっている。また、暫定対策としてJ又はU編成との併結、乗務員による早めブレーキを実施している。L単独編成時には宇都宮駅～福島駅上下線で早めブレーキの実施を行っている。

今回の事象は気象条件、レールと車輪の粘着、湿潤、乾燥、レール温度など複合的なものが原因であることが明らかに!

2022年のつばさ159号の滑走対策とその効果を明らかにすること。

滑走時、電気ブレーキから機械ブレーキに切り替えることにより電気ブレーキによる再粘着を疎外しない対策を行っており、その効果はあると考えている。

つばさ121号の滑走の対策、安全を第一とする新幹線職場風土確立のため以下の点を確認!

- ブレーキ力増強のため暫定対策であるJ編成との併結運転を3月の末までの予定であったが、当面の間行うこと。
- L単独編成の宇都宮～福島駅間の上下線で早めブレーキを示達しているが、その他の車種、線区についても滑走時は早めブレーキ、高積雪を認めたら耐雪ブレーキを使用するように指導を徹底すること。乗務員のソフト対策だけではなくATCのパターンで停車するのが新幹線であり対策を講じていくこと。
- 安全は最優先という考えに変わりはなく、遅れを気にしないよう現場にも指導していく考えであること。

同種事故を続けて発生させた責任は極めて重い!

徹底的な原因究明と対策を講じることを求める!